

2025年7月1日
ウィナーソフト株式会社

第18回 日中情報サービス産業懇談会を開催

「ともに創り、ともに歩む AI時代の新たなグローバルビジョン」をテーマに2025年6月23日～24日に第18回 日中情報サービス産業懇談会が、北京・中関村国家自主イノベーション示範区会議センターにて盛大に開催されました。

本懇談会は、日本情報サービス産業協会（JISA）と中国ソフトウェア産業協会（CSIA）の共催により実施され、日中両国から約100社、300名近々の関係者にご参加いただきました。



初日は、JISAとCSIAの代表が日本と中国の情報サービス産業の現状についてそれぞれ報告を行い、続いて人工知能（AI）とデジタル変革（DX）を主軸に、NTTデータ、NEC、野村総合研究所（NRI）、東芝デジタルソリューションズなど日本を代表する企業が、生成AI、AIエージェント、スマート製造に関する日本の最新動向と先進事例を発表いたしました。

中国側は、中軟国際、テンセントクラウド、Zai、アリババクラウド、アントグループなどの代表的なAIプレイヤーが中国のAI基礎研究と社会実装の紹介を行い、講演後のパネルディスカッションでは、AI時代における日中間の補完関係と協業の可能性についても十分な議論を行うことが出来ました。

二日目には、日本から30数名の参加者が北京ハイレベル自動運転モデル区を視察し、自動運転の車に乗って公道を走る体験をするなど、北京市経済開発区が運営するAIインキュベーション施設の見学を実施し大変、高評価のお声をいただきました。

1996年に創設された日中情報サービス産業懇談会は、IT分野における両国間の実務連携を推進する中核プラットフォームとして、長年にわたり双方の信頼関係の構築と技術・ビジネス交流を支えてきました。当社は中国ソフトウェア産業協会（CSIA）日本事務所として、新時代における日中情報サービス産業に直接対話するチャンスを提供し、日中両国が今後AIをはじめとする先端領域での親交を深め、引き続き日中情報サービス産業の交流と協業を推進できるよう尽力して参ります。